

セーフティロード



経済性UP、仮設費用が不要です。

上載荷重:張り出し部には群集荷重 $q=5.0\text{kN/m}^2$ と50mm程度の舗装重量を見て設計しています。

特長

1 施工のスピード化

工程の短縮が可能で、工事起因の公害が大幅に減少します。(工期は在来工法の約1/4。周辺環境への影響を少なくします。)

2 安全性の向上

リブ構造体で基礎部と床版が一体化した為、安全性が非常に高くなりました。(アンカーボルト等の材料を不要としました。)

3 流水断面の保護

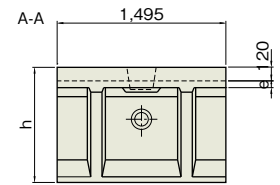
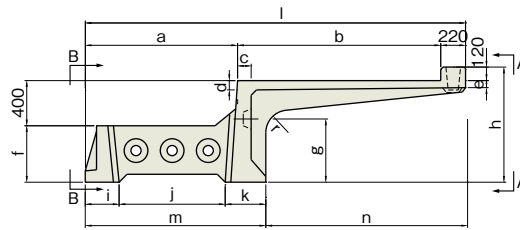
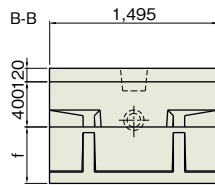
片持式支持構造である為、河川や水路沿であれば、流水断面を欠損することなく歩道設置が可能です。

4 半永久的構造物

厳密な品質管理の下で製造されたRCコンクリートの為、設置後のメンテナンスが不要となります。

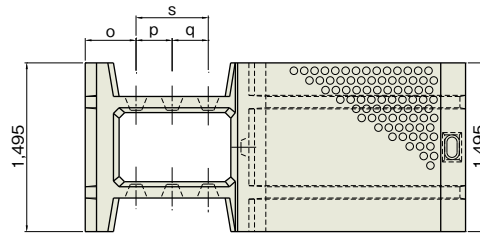
寸法図

本体

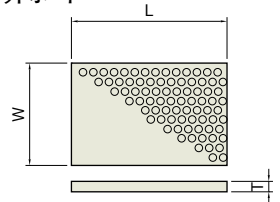


フラットボード

呼名	L mm	T mm	W mm	重量(kg)
FB-20	745	50	190	17
FB-50	745	50	490	43
FB-70	745	50	690	61



フラットボード



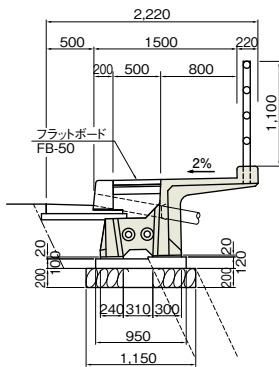
本体

形式	記号	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	重量(kg)	
SR-10		650	800	70	70	60	400	460	920	240	310	300	1,670	850	820	300			100	200	990	
SR-15		1,000	1,300	100	80									600	350	2,520	1,250	1,270	400			150
SR-20		1,350	1,800					500	560	1,020	300	940	360	3,370	1,600	1,770	450	320	320	200		1,946
SR-25		1,530	2,300					600	660	1,120	350	1,070	460	4,050	1,880	2,170	500	380	380	250		2,546
SR-30		1,650	2,800	120			1,100	1,160	1,620	400	1,100	500	4,670	2,000	2,670	600	350	350	300		4,226	

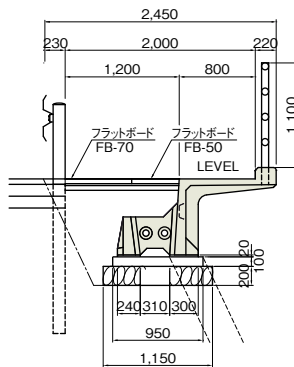
施工断面図例

(単位:mm)

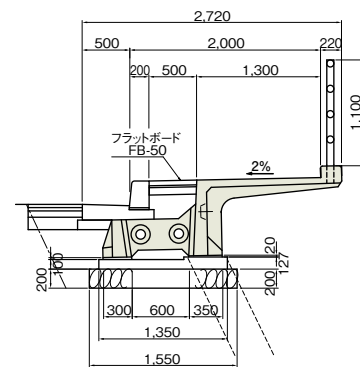
SR10-15M



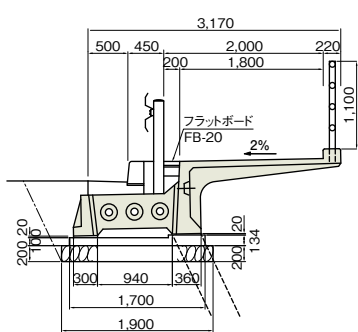
SR10-20F (G) ※3



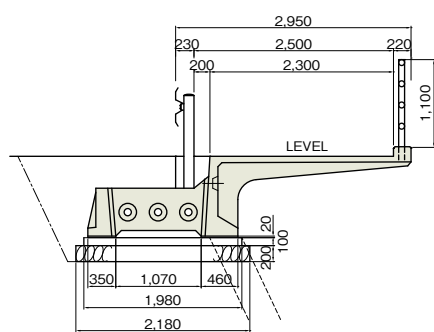
SR15-20M



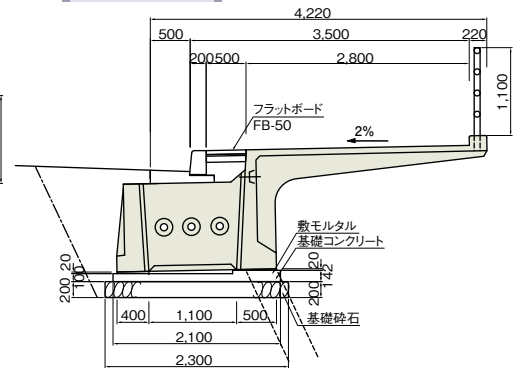
SR20-20M (G)



SR25-25F (G) ※3



SR30-35M



例:SR10-20F (G) ※3

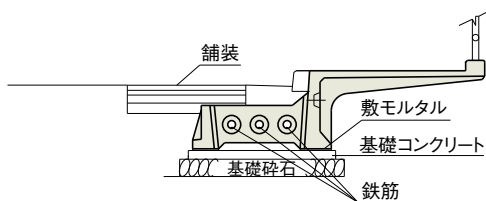
※1 歩道幅を表しています。
 ※2 記号は以下の通りです。M:マウンドアップ F:フラット G:ガードレール付
 ※3の図は張出し板前面に水を抜く場合の設置例でそれ以外の図は車道側に排水する場合の設置例です。

参考歩掛

10m当り

工種	名 称	単位	SR10	SR15	SR20	SR25	SR30	備考
床版工	製品本体	個	6.667	6.667	6.667	6.667	6.667	1.5m/個
	目地モルタル	m ³	0.004	0.006	0.007	0.010	0.016	
	伸縮目地材	m ²	0.469	0.692	1.060	1.401	2.507	t=10mm
	敷モルタル	m ³	0.108	0.130	0.132	0.162	0.180	t=20mm
基礎工	基礎碎石	m ²	11.500	15.500	19.000	21.800	23.000	C-40,t=200mm
	間詰めコンクリート	m ³	1.603	2.660	4.705	6.439	11.858	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
	鉄筋	kg	21.500	21.500	32.200	32.200	32.200	D13
	基礎コンクリート	m ³	0.950	1.350	1.700	1.980	2.100	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
	同上型枠	m ²	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	
据付工	一日当り施工延長	m	38	38	38	30	30	
	世話役	人	0.260	0.260	0.260	0.330	0.330	
	特殊作業員	人	0.260	0.260	0.260	0.330	0.330	
	普通作業員	人	0.790	0.790	0.790	1.000	1.000	
	ラフテレーンクレーン	日	0.260(10t吊)	0.260(16t吊)	0.260(16t吊)	0.330(20t吊)	0.330(35t吊)	
	諸雑費率	%	18	18	18	20	20	

標準施工断面図



- (注) 1.上記代価表は、平成24年度国土交通省土木工事積算基準「擁壁工」プレキャスト擁壁据付歩掛を参考として作成した独自歩掛であり、現場条件に応じて施工重機の見直しや歩掛の割り増しなどを行ってください。
- 2.本歩掛は、製品本体をフラットに据え付けた場合の歩掛です。
- 3.基礎材料は地盤状態により増減してください。地耐力不足の場合は別途ご検討ください。
- 4.諸雑費は、敷モルタル、目地モルタル、伸縮目地材などの費用であり、労務費および機械賃料の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上してください。

施工手順



1 製品搬入



2 製品反転



3 モルタル敷設



4 製品据付



5 勾配確認



6 間詰コンクリート打設(鉄筋挿入)



7 埋戻し



8 完成



重心位置が先端側にある為、据付作業中及び養生中は、製品床版上に荷重をかけないで下さい。

取扱地域

北海道

東北

関東

中部

北陸

近畿

中国

四国

九州

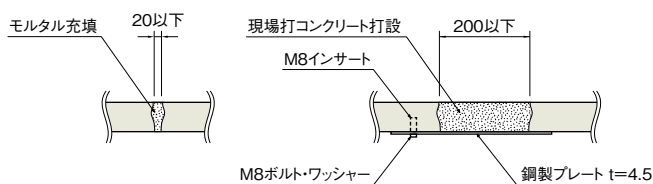
沖縄

※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所(P488)にお問い合わせください。

R部の対応について

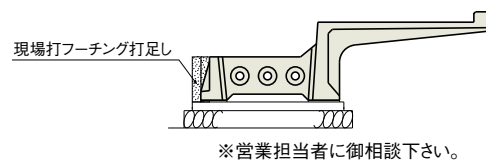
【開き部対処方法】

- ①開き $\leq 20\text{mm}$ の場合:開き部にモルタル充填します。
- ② $20\text{mm} < \text{開き} \leq 200\text{mm}$ の場合:
張り出し床版裏側に鋼製プレートを取り付け、
それを捨て型枠としてコンクリートを打設します。

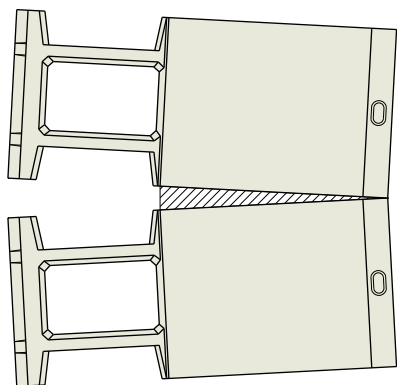
開き $\leq 20\text{mm}$ $20\text{mm} < \text{開き} \leq 200\text{mm}$ 

【フーチングの打ち足し】

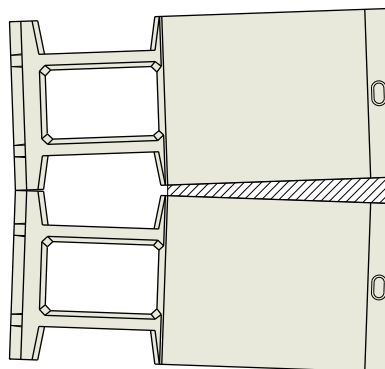
連続した外開きの場合、張り出し部重量が重くなるため、フーチングを打ち足す場合があります。



内開き



外開き



施工例

カルバート・
下水道擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境貯留・
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料